

「下水道管更生技術施工展2011九州」を終えて

米川 尚男

YONEKAWA Takao

(公社)日本下水道管路管理業協会
技術部調査課長



1. はじめに

下水道管更生技術施工展（以下、「施工展」）は平成13年からスタートしました。当時国内の更生工法は、施工実績がまだ15年程度と歴史が浅く、また多数の工法が開発・改良されていたことから、設計担当者から各工法の特徴や違いについて質問を受けることが多々ありました。またこの年は、国土交通省から更生工法による改築にあたっての国庫補助の運用が示され事業推進に拍車がかかる勢いとなったことから、当協会はこの施工展を情報発信の一環として位置付けました。

更生工法は地表を開削することなく既設管の内側に新しい管を構築するものです。施工工程の殆どが地下であるため、通常は施工関係者以外、その特徴的な施工方法や更生管の仕上がり状況を見ることはできません。そこで「百聞は一見に如かず」を開催の意義とし、来場者が間近に見て・触れて・感じるができるよう、実際の施工技術を地上の模擬管でデモ施工する展示会としました。

2. 施工展2011九州について

2-1 開催に至るまで

今年で11回目となる施工展は、昨年12月の理事会で九州支部提案の福岡開催に決まりました。開催時期は例年通り10月上旬、開催場所は福岡市中央区にある舞鶴公園西広場を予定し、詳細については今年3月の運営委員会で協議することとなりました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災により運営委員会は無期延期。被災が広域にわたっていたため当協会の業務は災害復旧支援活動に集中し、運営委員会を開催したのは8月に入ってからでした。よって本来であれば施工展開催まで、7ヶ月間で準備調整するところを3ヶ月間で行うこととなり、関係者及び出展者の皆様にはご理解とご協力いただきましたことに深く感謝しております。

特に間際まで苦労したことは展示会場とその周辺の準備でした。舞鶴公園は福岡市の中心市街地にあり、多くの市民に憩いの場として利用されています。会期中も一般市民の方が展示会場の西広場周辺を歩き交う

表-1 施工展開催実績

回数	開催都市	開催場所	開催日	出展数	入場者数
第1回	和泉佐野市	りんくうタウン	H13.12.06	19	923名
第2回	大阪市	コスモスクエア	H14.11.08	24	1,107名
第3回	広島市	海島博覧会場跡	H15.10.24	26	1,531名
第4回	名古屋市	名古屋市応急給水センター	H16.10.08	33	1,474名
第5回	佐賀市	どん3広場	H16.11.11	28	1,082名
第6回	塩竈市	JR本塩釜駅貨物ヤード跡地	H17.10.06	29	1,237名
第7回	小樽市	「小樽築港前駅」前JRヤード	H18.06.16	28	1,245名
第8回	松山市	城山公園内	H19.10.12	29	1,338名
第9回	三郷市	中川水循環センター	H20.10.9-10	28	2,346名
第10回	大阪市	コスモスクエア	H22.10.06	28	1,786名
第11回	福岡市	舞鶴公園西広場	H23.10.05	28	1,354名